

ICT機器・サービスのアクセシビリティ自己評価様式

作成日:2022年11月28日

企業・団体名	ソフトバンク株式会社
ICT機器・サービス名称	SureTalk
型番	なし
ICT機器・サービス概要	手話と音声の相互コミュニケーションシステム (会話機能)
問合せ先	SBBGRP-SureTalkPjt@g.softbank.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.suretalk.mb.softbank.jp/

製品画像



機能性能

配慮対象アクセス	評価結果	概要
視力なしでの使用(全盲) 製品・サービスが視覚的な操作モードで提供される場合、視力を必要としない操作モードが用意されているか	部分的に対応している	【音声ユーザー】 ・一部タブキーにより画面内及び画面間の移動は可能ですが、現在どこにフォーカスされているかを視覚的なモード以外で把握する機能は用意されておられません。 ・トークルームに入室した後は、音声のみによる利用が可能です。 【手話ユーザー】 ・盲ろう者対応については本質的な変更が必要となるため現状は対象外と考えます。
限られた視力での使用(弱視、ロービジョン) 製品・サービスが視覚的な操作モードで提供される場合、限られた視力で対応可能な操作モードが用意されているか	対応している	【音声ユーザー/手話ユーザー】 ・それぞれの画面はブラウザ標準機能により200%まで拡大が可能です。また、トークルームでは文字の大きさを3段階に調整可能です。 ・マイページでは、フォーカスされたフィールドが枠で囲まれ、利用者がこのフィールドに入力すべきかを確認することが可能です。
色知覚なしでの使用 製品・サービスが視覚的な操作モードで提供される場合、色知覚を必要としない操作モードが用意されているか	部分的に対応している	【音声ユーザー/手話ユーザー】 ・コンテンツはテキストのラベルが付与されており、利用者が行う動作や反応に対して色知覚は操作に必要な要件とはしていません。 ・白と黒が判別できない場合、一部のメニューの操作場所が分からなくなる可能性があります。
聴力なしでの使用(全ろう) 製品・サービスが聴覚的な操作モードで提供される場合、聴力を必要としない操作モードが用意されているか	対応する必要がない	【手話ユーザー】 ・当サービスは聴覚的な操作モードは提供されておらず、聴力を要しない操作モードのみとなります。 ・会話機能では手話及びテキスト入力による利用が可能です。
限られた聴力での使用(難聴) 製品・サービスが聴覚的な操作モードで行われる場合、強化された音声機能によって限られた聴力を補う操作モードが提供されているか	対応する必要がない	【音声ユーザー/手話ユーザー】 ・当サービスは聴覚的な操作モードは提供されておらず、聴力を要しない操作モードのみとなります。 ・トークルームでは手話及びテキスト入力による利用が可能です。
発話能力なしでの使用 製品・サービスが発話による操作モードで行われる場合、音声入力を必要としない操作モードが用意されているか	対応している	【音声ユーザー】 ・トークルームでは音声入力だけでなくテキスト入力でも利用できる操作モードが用意されております。
限られた器用さ又は力での使用 製品・サービスが手の動作を必要とする場合、細かい運動制御等を必要としない操作モードが用意されているか	部分的に対応している	【音声ユーザー/手話ユーザー】 ・タブキーとエンターキーである程度の操作は可能ですが、全ての操作をタブキーとエンターキーのみでは操作できません。 ・音声モードでは、トークルームに入室後は音声のみで会話が可能です。誤変換を修正する場合はテキスト入力が必要です。 ・手話モードでは、トークルームに入室後は手話のみで会話が可能です。誤変換を修正する場合はテキスト入力が必要です。
限られた手の届く範囲での使用 製品・サービスが手動による操作モードで提供される場合、手の届く範囲で、かつ限られた力に対応可能な操作モードが用意されているか	部分的に対応している	【音声ユーザー/手話ユーザー】 ・タブキーとエンターキーである程度の操作は可能ですが、全ての操作をタブキーとエンターキーのみでは操作できません。 ・音声モードでは、トークルームに入室後は音声のみで会話が可能です。誤変換を修正する場合はテキスト入力が必要です。 ・手話モードでは、トークルームに入室後は手話のみで会話が可能です。誤変換を修正する場合はテキスト入力が必要です。
光の点滅による影響の最小化(光感受性発作) 製品が視覚的な操作モードで提供される場合、光感受性発作を引き起こすリスクを最小化するような配慮がなされているか	対応している	【音声ユーザー/手話ユーザー】 ・当サービスは光感受性発作を引き起こすリスクを持つ閃光は使用していません。

ICT機器・サービスのアクセシビリティ自己評価様式

配慮対象アクセス	評価結果	概要
プライバシー 製品・サービスがアクセシビリティ機能を提供する場合、アクセシビリティ機能を使用するにあたりプライバシーが守られる操作モードが用意されているか	対応している	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーに該当するものとして会話情報がありますが、これは音声テキスト化したもの、並びに手話動作を画像解析によりテキスト化したもの、を指します。 ・トークルーム利用後に退出することで会話情報は消去され、次の利用者にプライバシーを見られることはありません。 ・トークルームで使用するカメラ、マイクでは録画・録音はしておらず、データとして保存はしていません。 ・ただし、運用管理上、翻訳結果として出力されるテキスト情報を調査の目的で確認することがあるため、トークルームに入室時に本人の同意を取得する画面が用意されています。

サポート対応 概要

配慮対象アクセス	評価結果	概要
ドキュメントとサポートサービス 製品の取扱説明書や問合せ先が提供されているか。また、アクセシビリティに配慮したサポート(取扱説明書、電話や手話(筆記)窓口、FAX等)が提供されているか。	対応している	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用方法はアプリ内部に用意されています。 ・利用方法は動画およびテキストで用意されており、またホームページで個別の問い合わせ窓口も用意されています。 ・157などソフトバンクの共通お客様窓口でもお問い合わせを受け付けております。

用いた技術基準

技術基準(JIS X8341-3)

免責事項

・サービスのご利用にあたりSureTalkウェブページに掲載する利用規約第9条(保証の否認及び免責事項)(https://app.suretalk.jp/agreement_before_login)にご同意いただくものとします。
 ・著作権上、この文書の再利用等は禁じます。
 ・この文書は、製品に関する情報提供を目的としており、すべての人が使用できることを保証するものではありません。
 ・サービスに関するホームページに記載する推奨利用環境(<https://www.suretalk.mb.softbank.jp/requirements/>)以外の環境で操作した場合、並びにSureTalkウェブページに掲載する“SureTalkの使い方”(<https://app.suretalk.jp/>)によらない場合は評価通りにならない場合がございます。

様式作成時の技術基準(JIS X 8341シリーズ(JIS X 8341-3:2016 ウェブコンテンツ))

ver.2(2021/02)

章・項・節	項目名	規格内容	企業評価欄		視力なしでの使用(全盲)	限られた視力での使用(弱視)	色覚なしでの使用	聴力なしでの使用(全ろう)	限られた聴力での使用(難聴)	発話能力なしでの使用	限られた器用さ又は力での使用	限られた手の届く範囲での使用	光の点滅による影響の最小化(光感受性発作)
			評価	備考									
1	知覚可能な原則	情報及びユーザーインターフェース コンポーネントは、利用者が知覚できる方法で利用者に提示可能でなければならない。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1.1	代替テキストのガイドライン	全ての非テキストコンテンツには、拡大印刷、点字、音声、シンボル、平易な言葉などの利用者が必要とする形式に変換できるように、代替テキストを提供する。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1.1.1	非テキストコンテンツの達成基準	<p>利用者に提示される全ての非テキストコンテンツには、同等の目的を果たす代替テキストが提供されている。ただし、次の場合は除く(レベルA)。</p> <p>a)コントロール及び入力 非テキストコンテンツが、コントロール又は利用者の入力を受け付けるものであるとき、その目的を説明する名前(name)を提供している(コントロール及び利用者の入力を受け付けるコンテンツに関するその他の要件は、4.1 参照。)</p> <p>b)時間依存メディア 非テキストコンテンツが、時間に依存したメディアであるとき、代替テキストは、少なくとも、その非テキストコンテンツを識別できる説明を提供している(メディアに関するその他の要件は、1.2 参照。)</p> <p>c)テスト 非テキストコンテンツが、テキストで提示されると無効になるテスト又は演習のとき、代替テキストは、少なくともその非テキストコンテンツを識別できる説明を提供している。</p> <p>d) 感覚的 非テキストコンテンツが、特定の感覚的体験を創り出すことを主に意図しているとき、代替テキストは、少なくともその非テキストコンテンツを識別できる説明を提供している。</p> <p>e) CAPTCHA 非テキストコンテンツが、コンピュータではなく人間がコンテンツにアクセスしていることを確認する目的で用いられているとき、代替テキストは、その非テキストコンテンツの目的を特定し、説明して、かつ、他の感覚による知覚に対応して出力するCAPTCHAの代替形式を提供することで、様々な障害に対応している。</p> <p>f) 装飾、整形及び非表示 非テキストコンテンツが、純粋な装飾である場合、見た目の整形のためだけに用いられている場合、又は利用者に提供されるものではない場合、その非テキストコンテンツは、支援技術</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・非テキストコンテンツに音声による代替は実装していない ・非テキストコンテンツにはその内容を示すテキストが代替として提供されている ・発話ができない場合でも手話を読み取りテキストで表示する代替手段が提供されている ⇒視覚障害には対応できていない ⇒聴覚障害には対応している https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/text-equiv-all.html 	●	●	●	●	●	●			
1.2	時間依存メディアのガイドライン	時間依存メディアには代替コンテンツを提供する。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1.2.1	音声だけでなく映像だけ(収録済み)の達成基準	<p>収録済みの音声しか含まないメディア及び収録済みの映像しか含まないメディアは、次の事項を満たしている。ただし、その音声又は映像がメディアによるテキストの代替であって、メディアによる代替であることが明確にラベル付けされている場合は除く(レベルA)。</p> <p>a)収録済みの音声しか含まない場合 時間依存メディアに対する代替コンテンツによって、収録済みの音声しか含まないコンテンツと同等の情報を提供している。</p> <p>b)収録済みの映像しか含まない場合 時間依存メディアに対する代替コンテンツ又は音声トラックによって、収録済みの映像しか含まないコンテンツと同等の情報を提供している。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・収録済みの音声のみという状況は存在しない ・収録済みの映像のみの場合は、テキストという代替コンテンツによって同等の情報を提供している https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/media-equiv-av-only-all.html 	●	●	●	●					
1.2.2	キャプション(収録済み)の達成基準	同期したメディアに含まれている全ての収録済みの音声コンテンツに対して、キャプションが提供されている。ただし、その同期したメディアがメディアによるテキストの代替であって、メディアによる代替であることが明確にラベル付けされている場合は除く(レベルA)。	—(対象外)	<ul style="list-style-type: none"> ・収録済みの音声コンテンツは存在しない ・SureTalkのメディアは音声のない映像 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/media-equiv-captions.html 	●	●	●	●					
1.2.3	音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ(収録済み)の達成基準	同期したメディアに含まれている収録済みの映像コンテンツに対して、時間依存メディアに対する代替又は音声解説が提供されている。ただし、その同期したメディアがメディアによるテキストの代替コンテンツであって、メディアによる代替であることが明確にラベル付けされている場合は除く(レベルA)。	—(対象外)	<ul style="list-style-type: none"> ・収録済みの映像コンテンツに音声解説は提供されていない https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/media-equiv-audio-desc.html 	●	●							
1.2.4	キャプション(ライブ)の達成基準	同期したメディアに含まれている全てのライブの音声コンテンツに対して、キャプションが提供されている(レベル AA)。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・SureTalkを通じて2者間で行う双方向の会話で音声認識を利用したリアルタイムのキャプションを提供する https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/media-equiv-real-time-captions.html 			●	●					
1.2.5	音声解説(収録済み)の達成基準	同期したメディアに含まれている全ての収録済みの映像コンテンツに対して、音声解説が提供されている(レベル AA)。	×	<ul style="list-style-type: none"> ・映像コンテンツに対して音声解説は提供されていない https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/media-equiv-audio-desc- 	●	●							

様式作成時の技術基準(JIS X 8341シリーズ(JIS X 8341-3:2016 ウェブコンテンツ))

ver.2(2021/02)

章・項・節	項目名	規格内容	企業評価欄		視力なしでの使用(全盲)	限られた視力での使用(弱視)	色知覚なしでの使用	聴力なしでの使用(全ろう)	限られた聴力での使用(難聴)	発話能力なしでの使用	限られた器用さ又は力での使用	限られた手の届く範囲での使用	光の点滅による影響の最小化(光感受性発作)
			評価	備考									
1.2.6	手話(収録済み)の達成基準	同期したメディアに含まれている全ての収録済みの音声コンテンツに対して、手話通訳が提供されている(レベル AAA)。	—(対象外)	・収録済みの音声コンテンツは存在しない				●	●				
1.2.7	拡張音声解説(収録済み)の達成基準	前景音声の合間の時間が、音声解説で映像の意味を伝達するのに不十分な場合、同期したメディアに含まれている全ての収録済みの映像コンテンツに対して、拡張音声解説が提供されている(レベル AAA)。	—(対象外)		●	●							
1.2.8	メディアに対する代替コンテンツ(収録済み)の達成基準	全ての収録済みの同期したメディア及び全ての収録済みの映像しか含まないメディアに対して、時間依存メディアに対する代替コンテンツが提供されている(レベル AAA)。	—(対象外)		●	●							
1.2.9	音声だけ(ライブ)の達成基準	ライブの音声しか含まないコンテンツに対して、それと同等の情報を提示する、時間依存メディアの代替コンテンツが提供されている(レベル AAA)。	—(対象外)				●	●					
1.3	適応可能なガイドライン	情報、及び構造を損なうことなく、様々な方法(例えば、よりシンプルなレイアウト)で提供できるようにコンテンツを制作する。	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
1.3.1	情報及び関係性の達成基準	何らかの形で提示されている情報、構造、及び関係性は、プログラムによる解釈が可能である。又はテキストで提供されている(レベル A)。	○	・入力フォームに、必須項目と任意項目の両方がある。必須項目のラベルには、オレンジ色で「必須」と表示している。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/content-structure-separation-programmatic.html				●	●				
1.3.2	意味のある順序の達成基準	コンテンツが提示されている順序が意味に影響を及ぼす場合には、正しく読む順序はプログラムによる解釈が可能である(レベル A)。	—(対象外)		●	●							
1.3.3	感覚的な特徴の達成基準	コンテンツを理解し操作するための説明は、形、大きさ、視覚的な位置、方向、又は音のような、構成要素がもつ感覚的な特徴だけに依存していない(レベル A)。	○	・コンテンツには感覚的な特徴だけではなくテキストによっても説明されている。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/content-structure-separation-understanding.html	●	●	●	●	●				
1.4	判別可能なガイドライン	コンテンツを、利用者にとって見やすく、聞きやすいものにする。これには、前景と背景とを区別することも含む。	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
1.4.1	色の使用の達成基準	色が、情報を伝える、動作を示す、反応を促す、又は視覚的な要素を判別するための唯一の視覚的手段になっていない(レベル A)。	○	・必須項目には色に加えてテキストのラベルも付与されている。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/visual-audio-contrast-without-color.html			●						
1.4.2	音声の制御の達成基準	ウェブページ上にある音声自動的に再生され、3秒より長く続く場合、その音声を一時停止若しくは停止するメカニズム、又はシステム全体の音量レベルに影響を与えずに音量レベルを調整できるメカニズムが利用できる(レベル A)。	○	・SureTalkに音声コンテンツは含まれていないため、音声の利用者に影響を及ぼすことは無い。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/visual-audio-contrast-dis-audio.html					●				
1.4.3	コントラスト(最低限レベル)の達成基準	テキスト及び文字画像の視覚的提示には、少なくとも4.5:1のコントラスト比がある。ただし、次の場合は除く(レベル AA)。 a)大きな文字 サイズの大きなテキスト及びサイズの大きな文字画像には、少なくとも3:1のコントラスト比がある。 b)附随的 テキスト又は文字画像において、次の場合はコントラストの要件はない。アクティブではないユーザーインターフェースコンポーネントの一部である。純粋な装飾である。誰も視覚的に確認できない、又は重要な他の視覚的なコンテンツを含む写真の一部分である。 c)ロゴタイプ ロゴ又はブランド名の一部である文字には、最低限のコントラストの要件はない。	×	・テキスト及び文字画像の視覚的提示が4.5:1のコントラスト比にはなっていない。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/visual-audio-contrast-contrast.html		●	●						
1.4.4	テキストのサイズ変更の達成基準	キャプション及び文字画像を除き、テキストは、コンテンツ又は機能を損なうことなく、支援技術なしで200%までサイズ変更できる(レベル AA)。	○	・Webアプリは、ブラウザ(GoogleChrome)の標準機能で200%まで拡大可能である。 ・iOSアプリについては拡大機能は実装していない。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/visual-audio-contrast-contrast.html		●							

様式作成時の技術基準(JIS X 8341シリーズ(JIS X 8341-3:2016 ウェブコンテンツ))

ver.2(2021/02)

章・項・節	項目名	規格内容	企業評価欄		視力なしでの使用(全盲)	限られた視力での使用(弱視)	色覚なしでの使用	聴力なしでの使用(全ろう)	限られた聴力での使用(難聴)	発話能力なしでの使用	限られた器用さ又は力での使用	限られた手の届く範囲での使用	光の点滅による影響の最小化(光感受性発作)
			評価	備考									
1.4.5	文字画像の達成基準	<p>使用している技術で意図した視覚的提示が可能である場合、文字画像ではなくテキストが情報伝達に用いられている。ただし、次に挙げる場合を除く(レベル AA)。</p> <p>a)カスタマイズ可能 文字画像は、利用者の要求に応じた視覚的なカスタマイズができる。</p> <p>b)必要不可欠 テキストの特定の表現が、伝えようとする情報にとって必要不可欠である。</p>	×	https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/visual-audio-contrast-text-presentation.html	●	●	●						
1.4.6	コントラスト(高度レベル)の達成基準	<p>テキスト及び文字画像の視覚的提示には、少なくとも7:1のコントラスト比がある。ただし、次の場合は除く(レベル AAA)。</p> <p>a)大きな文字 サイズの大きなテキスト及びサイズの大きな文字画像には、少なくとも4.5:1のコントラスト比がある。</p> <p>b)附随的 テキスト又は文字画像において、次の場合はコントラストの要件はない。アクティブではないユーザーインタフェース コンポーネントの一部である。純粋な装飾である。誰も視覚的に確認できない。又は重要な他の視覚的なコンテンツを含む写真の一部分である。ラスト比がある。</p> <p>c)ロゴタイプ</p>	—(対象外)			●	●						
1.4.7	小さな背景音、又は背景音なしの達成基準	<p>収録済みの音声しか含まないコンテンツで、(1)前景に主として発話を含み、(2)音声 CAPTCHA 又は音声ロゴではなく、かつ、(3)例えば、歌、ラップなどのように、主として音楽表現を意図した発声ではないものについては、次に示す事項のうち、少なくとも一つを満たしている(レベル AAA)。</p> <p>a)背景音なし 音声は背景音を含まない。</p> <p>b)消音 背景音を消すことができる。</p> <p>c)20 デンベル 背景音は、前景にある発話のコンテンツより少なくとも20 デンベルは低い。ただし、継続時間が2秒以内で発生頻度が低い背景音は除く。</p>	—(対象外)					●					
1.4.8	視覚的提示の達成基準	<p>テキストブロックの視覚的提示において、次を実現するメカニズムが利用できる(レベル AAA)。</p> <p>a)利用者が、前景色と背景色とを選択できる。</p> <p>b)幅が80字を超えない(全角文字の場合は、40字)。</p> <p>c)テキストが、均等割付けされていない[高確そら(揃)えではない、]。</p> <p>d)段落中の行送り、少なくとも1.5文字分ある。そして、段落の間隔は、その行送りの少なくとも1.5倍以上ある。</p> <p>e)テキストは、支援技術なしで200%までサイズ変更でき、利用者が全画面表示にしたウィンドウで1行のテキストを読むときに横スクロールする必要がない。</p>	—(対象外)			●	●						
1.4.9	文字画像(例外なし)の達成基準	<p>文字画像は、純粋な装飾に用いられているか、又はテキストの特定の表現が伝えようとする情報にとって必要不可欠である場合に用いられている(レベル AAA)。</p>	—(対象外)				●						
2	操作可能な原則	<p>コンポーネント及びナビゲーションは、操作可能でなければならない。</p>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2.1	キーボード操作可能なガイドライン	<p>全ての機能をキーボードから利用できるようにする。</p>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2.1.1	キーボードの達成基準	<p>コンテンツの全ての機能は、個々のキーストロークに特定のタイミングを要することなく、キーボードインタフェースを通じて操作可能である。ただし、その根本的な機能が利用者の動作による始点から終点まで続く一連の軌跡に依存して実現されている場合は除く(レベル A)。</p>	×	一部タブ動作でブラウザ上のボタンの移動は可能だが、すべてはカバーできていない。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/keyboard-operation-keyboard-operable.html	●	●					●		

様式作成時の技術基準(JIS X 8341シリーズ(JIS X 8341-3:2016 ウェブコンテンツ))

ver.2(2021/02)

章・項・節	項目名	規格内容	企業評価欄		視力なしでの使用(全盲)	限られた視力での使用(弱視)	色覚なしでの使用	聴力なしでの使用(全ろう)	限られた聴力での使用(難聴)	発話能力なしでの使用	限られた器用さ又は力での使用	限られた手の届く範囲での使用	光の点滅による影響の最小化(光感受性発作)	
			評価	備考										
2.1.2	キーボードトラップなしの達成基準	キーボードインタフェースを用いてキーボードフォーカスをそのウェブページのあるコンポーネントに移動できる場合、キーボードインタフェースだけを用いてそのコンポーネントからフォーカスを外すことが可能である。さらに、修飾キーを伴わない矢印キー、Tab キー、又はフォーカスを外すその他の標準的な方法でフォーカスを外せない場合は、フォーカスを外す方法が利用者に通知される(レベル A)。	×	・キーボードトラップはないが、フォーカスがどこにあるのかの判別が難しい場合がある。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/keyboard-operation-trapping.html	●	●						●		
2.1.3	キーボード(例外なし)の達成基準	コンテンツの全ての機能は、個々のキーストロークに特定のタイミングを要することなく、キーボードインタフェースを通じて操作可能である(レベル AAA)。	—(対象外)										●	
2.2	十分な時間のガイドライン	利用者がコンテンツを読み、かつ、使用するために十分な時間を提供する。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2.2.1	タイミング調整可能な達成基準	コンテンツに制限時間を設定する場合は、次に示す事項のうち、少なくとも一つを満たしている(レベル A)。 a)解除 制限時間があるコンテンツを利用する前に、利用者がその制限時間を解除することができる。 b)調整 制限時間があるコンテンツを利用する前に、利用者が少なくともデフォルト設定の10 倍を超える、大幅な制限時間の調整をすることができる。 c)延長 時間切れになる前に利用者に警告し、かつ、少なくとも20 秒間の猶予をもって、例えば「スペースキーを押す」などの簡単な操作によって、利用者が制限時間を少なくとも10 倍以上延長することができる。 d)リアルタイムの例外 リアルタイムのイベント(例えば、オークション)において制限時間が必須の要素で、その制限時間に代わる手段が存在しない。 e)必要不可欠な例外 制限時間が必要不可欠なもので、制限時間を延長することがコンテンツの動作を無効にすることになる。 f)20 時間の例外 制限時間が20 時間よりも長い。	—(対象外)	・時間制限のある機能は新規会員登録時の仮登録→本登録までの手続き期限が24 時間以内 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/time-limits-required-behaviors.html	●	●				●				
2.2.2	一時停止、停止及び非表示の達成基準	動きのある、点滅している、スクロールする、又は自動更新する情報は、次の全ての事項を満たしている(レベル A)。 a) 動き、点滅又はスクロール 動きのある、点滅している、又はスクロールしている情報が、(1)自動的に開始し、(2)5 秒よりも長く継続し、かつ、(3)その他のコンテンツと並行して提示される場合、利用者がそれを一時停止、停止、又は非表示にすることができるメカニズムがある。ただし、その動き、点滅、又はスクロールが必要不可欠な動作の一部である場合は除く。 b) 自動更新 自動更新する情報が、(1)自動的に開始し、かつ、(2)その他のコンテンツと並行して提示される場合、利用者がそれを一時停止、停止、若しくは非表示にする、又はその更新頻度を調整することができるメカニズムがある。ただし、その自動更新が必要不可欠な動作の一	○	・利用方法を説明する画面には「一時停止」ボタンと「再生」ボタンがある。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/time-limits-pause.html						●				
2.2.3	タイミング非依存の達成基準	タイミングは、コンテンツによって提示されるイベント又は動作の必要不可欠な部分ではない。ただし、インタラクティブではない同期したメディア及びリアルタイムのイベントは除く(レベル AAA)。	—(対象外)		●	●	●	●						
2.2.4	割込みの達成基準	割込みは、利用者が延期、又は抑制することができる。ただし、緊急を要する割込みは除く(レベル AAA)	—(対象外)		●	●	●	●						
2.2.5	再認証の達成基準	認証済みのセッションが切れた場合は、再認証後でもデータを失うことなく利用者が操作を継続できる(レベル AAA)。	○	・再認証した際にもそれ以前に予約したトークルームは予約状態が維持されている、かつ利用中のトークルームの時間が残っている場合は引き続きトークルームを	●	●	●	●						
2.3	発作の防止のガイドライン	発作を引き起こすようなコンテンツを設計しない。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

様式作成時の技術基準(JIS X 8341シリーズ(JIS X 8341-3:2016 ウェブコンテンツ))

ver.2(2021/02)

章・項・節	項目名	規格内容	企業評価欄		視力なしでの使用(全盲)	限られた視力での使用(弱視)	色知覚なしでの使用	聴力なしでの使用(全ろう)	限られた聴力での使用(難聴)	発話能力なしでの使用	限られた器用さ又は力での使用	限られた手の届く範囲での使用	光の点滅による影響の最小化(光感受性発作)	
			評価	備考										
2.3.1	3回のせん(閃)光、又はしきい(閾)値以下の達成基準	ウェブページには、どの1秒間においても3回を超えるせん(閃)光を放つものがない、又はせん(閃)光が一般せん(閃)光しきい(閾)値及び赤色せん(閃)光しきい(閾)値を下回っている(レベルA)。	○	https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/seizure-does-not-violate.html									●	
2.3.2	3回のせん(閃)光の達成基準	ウェブページには、どの1秒間においても3回を超えるせん(閃)光を放つものがない(レベルAAA)。	○											●
2.4	ナビゲーション可能なガイドライン	利用者がナビゲートしたり、コンテンツを探し出したり、現在位置を確認したりすることを手助けする手段を提供する。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2.4.1	ブロックスキップの達成基準	複数のウェブページ上で繰り返されているコンテンツのブロックをスキップするメカニズムが利用できる(レベルA)	—(対象外)	https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/navigation-mechanisms-	●	●								
2.4.2	ページタイトルの達成基準	ウェブページには、主題又は目的を説明したタイトルがある(レベルA)	○	ページ内にはその内容を示すタイトルが付けられている。(全てではない) https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/navigation-mechanisms-	●	●								
2.4.3	フォーカス順序の達成基準	ウェブページが順を追ってナビゲートできて、そのナビゲーション順が意味又は操作に影響を及ぼす場合、フォーカス可能なコンポーネントは、意味及び操作性を損なわない順序でフォーカスを受け取る(レベルA)	×	https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/navigation-mechanisms-focus-order.html	●	●								
2.4.4	リンクの目的(コンテキスト内)の達成基準	それぞれのリンクの目的が、リンクのテキスト単独で判断できるか、又はリンクのテキストとプログラムによる解釈が可能なリンクのコンテキストとから判断できる。ただし、リンクの目的がほとんどの利用者にとって曖昧な場合は除く(レベルA)。	—(対象外)	リンクがあり、その目的を説明するような画面は存在しない。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/navigation-mechanisms-	●	●								
2.4.5	複数の手段の達成基準	ウェブページ一式の中で、あるウェブページを見つける複数の手段が利用できる。ただし、ウェブページが一連のプロセスの中の1ステップ又は結果である場合は除く(レベルAA)。	—(対象外)	ウェブページ内に検索する機能は実装されていない。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/navigation-mechanisms-multi-loc.html	●	●								
2.4.6	見出し及びラベルの達成基準	見出し及びラベルは、主題又は目的を説明している(レベルAA)。	—(対象外)	マイページでは、要求するフィールドに該当するラベルが付与されている。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/navigation-mechanisms-descriptive.html	●	●								
2.4.7	フォーカスの可視化の達成基準	キーボード操作が可能ならゆるユーザインタフェースには、フォーカスインジケータが見える操作モードがある(レベルAA)	○	キーボードフォーカスを受け取った場合、そのフィールドが枠で囲まれハイライトされる。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/navigation-mechanisms-focus-	●	●								
2.4.8	現在位置の達成基準	ウェブページ一式の中で利用者の位置に関する情報が利用できる(レベルAAA)。	—(対象外)		●	●								
2.4.9	リンクの目的(リンクだけ)の達成基準	それぞれのリンクの目的を、リンクのテキスト単独で特定できるメカニズムが利用できる。ただし、リンクの目的がほとんどの利用者にとって曖昧な場合は除く(レベルAAA)。	—(対象外)		●	●								
2.4.10	セクション見出しの達成基準	セクション見出しを用いて、コンテンツが整理されている(レベルAAA)。	—(対象外)		●	●								
3	理解可能な原則	情報及びユーザインタフェースの操作は、理解可能でなければならない。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3.1	読みやすさのガイドライン	テキストのコンテンツを読みやすく理解可能にする。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3.1.1	ページの言語の達成基準	それぞれのウェブページのデフォルトの自然言語がどの言語であるか、プログラムによる解釈が可能である(レベルA)。	○	https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/meaning-doc-lang-id.html	●	●			●					
3.1.2	一部分の言語の達成基準	コンテンツの一部、又は語句それぞれの自然言語がどの言語であるか、プログラムによる解釈が可能である。ただし、固有名詞、技術用語、言語が不明な語句、及びすぐ前後にあるテキストの言語の一部になっている単語又は語句は除く(レベルAA)。	—(対象外)	https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/meaning-other-lang-id.html	●	●			●					
3.1.3	一般的ではない用語の達成基準	慣用語及び専門用語を含めて、一般的ではない用法又は限定された用法で使われている単語又は語句の、明確な定義を特定するメカニズムが利用できる(レベルAAA)。	—(対象外)		●	●			●					
3.1.4	略語の達成基準	略語の元の語、又は意味を特定するメカニズムが利用できる(レベルAAA)。	—(対象外)		●	●			●					
3.1.5	読解レベルの達成基準	固有名詞及び題名を取り除いた状態で、テキストが前期中等教育レベルを超えた読解力を必要とする場合は、補足コンテンツ又は前期中等教育レベルを超えた読解力を必要としない版が利用できる(レベルAAA)。	—(対象外)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	

様式作成時の技術基準(JIS X 8341シリーズ(JIS X 8341-3:2016 ウェブコンテンツ))

ver.2(2021/02)

章・項・節	項目名	規格内容	企業評価欄		視力なしでの使用(全盲)	限られた視力での使用(弱視)	色知覚なしでの使用	聴力なしでの使用(全ろう)	限られた聴力での使用(難聴)	発話能力なしでの使用	限られた器用さ又は力での使用	限られた手の届く範囲での使用	光の点滅による影響の最小化(光感受性発作)
			評価	備考									
3.1.6	発音の達成基準	文脈において、発音が分からないと単語の意味が不明瞭になる場合、その単語の明確な発音を特定するメカニズムが利用できる(レベル AAA)。	—(対象外)		●	●				●			
3.2	予測可能なガイドライン	ウェブページの表示及び挙動を予測可能にする。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3.2.1	フォーカス時の達成基準	いずれのコンポーネントも、フォーカスを受け取ったときにコンテキストの変化を引き起こさない(レベル A)	—(対象外)	・フォーカスを受け取って自動でジャンプするようなコントロールは存在しない。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/consistent-behavior-receive-focus.html	●	●							
3.2.2	入力時の達成基準	ユーザインタフェース コンポーネントの設定を変更することが、コンテキストの変化を自動的に引き起こさない。ただし、利用者が使用する前にその挙動を知らせてある場合を除く(レベル A)。	—(対象外)	・結果を予測するような入力フィールドは存在しない。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/consistent-behavior-unpredictable-change.html	●	●							
3.2.3	一貫したナビゲーションの達成基準	ウェブページ式の中にある複数のウェブページ上で繰り返されているナビゲーションのメカニズムは、繰り返されるたびに相対的に同じ順序で出現する。ただし、利用者が変更した場合は除く(レベル AA)。	—(対象外)	・該当するページは存在しない。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/consistent-behavior-consistent-locations.html	●	●							
3.2.4	一貫した識別性の達成基準	ウェブページ式の中で同じ機能をもつコンポーネントは、一貫して識別できる(レベル AA)。	—(対象外)	・該当するページは存在しない。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/consistent-behavior-consistent-functionality.html	●	●							
3.2.5	要求による変化の達成基準	コンテキストの変化は利用者の要求によってだけ生じるか、又は、そのような変化を止めるメカニズムが利用できる(レベル AAA)。	—(対象外)		●	●							
3.3	入力支援のガイドライン	利用者の間違いを防ぎ、修正を支援する。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3.3.1	エラーの特定の達成基準	入力エラーが自動的に検出された場合は、エラーとなっている箇所が特定され、そのエラーが利用者にテキストで説明される(レベル A)。	○	・エラーは視覚的に利用者にテキストで説明される。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/minimize-error-identified.html	●	●							
3.3.2	ラベル又は説明の達成基準	コンテンツが利用者の入力を要求する場合は、ラベル又は説明文が提供されている(レベル A)。	○	・テキストフィールド(マイページ)には、生年月日を入力するフィールドがあり、それぞれ「年」「月」と明確に選択肢を設け、プルダウンメニューで利用者に明示している。 https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-	●	●							
3.3.3	エラー修正の提案の達成基準	入力エラーが自動的に検出され、修正方法を提案できる場合、その提案が利用者に提示される。ただし、セキュリティ又はコンテンツの目的を損なう場合は除く(レベル AA)。			—	—	—	—	—	—	—	—	—
3.3.4	エラー回避(法的、金融及びデータ)の達成基準	利用者にとって法律行為若しくは金融取引が生じる、利用者が制御可能なデータストレージシステム上のデータを変更若しくは削除する、又は利用者が試験の解答を送信するウェブページでは、次に示す事項のうち、少なくとも一つを満たしている(レベル AA)。 a) 取消 送信を取り消すことができる。 b) チェック 利用者が入力したデータの入力エラーがチェックされ、利用者には修正する機会が提供される。 c) 確認 送信を完了する前に、利用者が情報の見直し、確認及び修正をするメカニズムが利用できる。			—	—	—	—	—	—	—	—	—
3.3.5	ヘルプの達成基準	コンテキストに応じたヘルプが利用できる(レベル AAA)。			—	—	—	—	—	—	—	—	—

様式作成時の技術基準(JIS X 8341シリーズ(JIS X 8341-3:2016 ウェブコンテンツ))

ver.2(2021/02)

章・項・節	項目名	規格内容	企業評価欄										
			評価	備考	視力なしでの使用(全盲)	限られた視力での使用(弱視)	色知覚なしでの使用	聴力なしでの使用(全ろう)	限られた聴力での使用(難聴)	発話能力なしでの使用	限られた器用さ又は力での使用	限られた手の届く範囲での使用	光の点滅による影響の最小化(光感受性発作)
3.3.6	エラー回避(全て)の達成基準	利用者に情報の送信を要求するウェブページでは、次に挙げる事項のうち、少なくとも一つを満たしている(レベル AAA)。 a) 取消送信を取り消すことができる。 b) チェック 利用者が入力したデータの入力エラーがチェックされ、利用者には修正する機会が提供される。 c) 確認 送信を完了する前に、利用者が情報の見直し、確認及び修正をするメカニズムが利用できる。			-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	堅ろう(牢)(Robust)の原則	コンテンツは、支援技術を含む様々なユーザーエージェントが確実に解釈できるように十分に堅ろう(牢)(robust)でなければならない。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4.1	互換性のガイドライン	現在及び将来の、支援技術を含むユーザーエージェントとの互換性を最大にする。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4.1.1	構文解析の達成基準	マークアップ言語を用いて実装されているコンテンツにおいては、要素には完全な開始タグ及び終了タグがあり、要素は仕様に従って入れ子になっていて、要素には重複した属性がなく、どのID も一意的である。ただし、仕様で認められているものを除く(レベル A)。			●	●							
4.1.2	名前(name)、役割(role)及び値(value)の達成基準	全てのユーザーインタフェース コンポーネント(フォームを構成する要素、リンク、スクリプトが生成するコンポーネントなど)では、名前(name)及び役割(role)は、プログラムによる解釈が可能である。また、状態、プロパティ及び利用者が設定可能な値はプログラムによる設定が可能である。そして、支援技術を含むユーザーエージェントが、これらの項目に対する変更通知を利用できる(レベル A)			-	-	-	-	-	-	-	-	-